

令和8年熊本地震による被害状況等について（第48報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1 地震の概要

（1）発生日時 令和8年7月28日 16:27

（2）震源地（震源の深さ）及び地震の規模

- ・震源地：熊本県熊本地方
- ・震源の深さ：16km（暫定値）
- ・地震の規模（マグニチュード）：7.1（暫定値）

（3）津波注意報：有明・八代海

発表（7/28 16:29）

解除（7/28 18:10）

（4）各地の震度（震度5弱以上）

震度7 熊本県 宇城市、氷川町

震度6強 熊本県：熊本市、八代市、宇土市、美里町、益城町、嘉島町

震度6弱 熊本県：上天草市、合志市、大津町、西原村、御船町、芦北町

震度5強 熊本県：水俣市、山鹿市、菊池市、天草市、菊陽町、津奈木町、
甲佐町

長崎県：南島原市

鹿児島県：薩摩川内市、さつま町、長島町

震度5弱 熊本県：人吉市、玉名市、阿蘇市、和水町、高森町、南阿蘇村、
山都町、多良木町、湯前町、山江村、あさぎり町、
苓北町

長崎県：諫早市、雲仙市

鹿児島県：阿久根市、出水市、いちき串木野市、伊佐市、
湧水町

福岡県：柳川市、大川市

佐賀県：神埼市、白石町

宮崎県：延岡市、西都市、椎葉村

（5）長周期地震動（長周期地震動階級4以上）

長周期地震動階級4 熊本県熊本

（6）地震活動の状況（8/23 08:00 時点）

7/28 16:27 の最大震度7の地震以降、震度3以上を観測した地震が98
回発生（震度7：1回、震度5弱：5回、震度4：23回、震度3：69回）

（7）気象の見通し（8/23 08:00 時点）

- ・熊本県では、23日（日）から29日（土）にかけて高気圧に覆われて
概ね晴れるが、23日の午後は湿った空気や日射の影響で雨が降る所が

ある。

- ・ しばらく、最高気温 37 度前後、最低気温 26 度以上の日が続く。特に 23 日と 25 日（火）は最高気温 38 度の危険な暑さとなる。熱中症予防などの健康管理に注意。
- ・ 熊本県では、空気の乾燥した状態が続くため、火の取り扱いにも注意。
- ・ 熊本県の 23 日 06 時から 24 日 06 時までの予想降水量は、多い所で 1 時間降水量 10 ミリ、24 時間降水量 20 ミリの見込み。
- ・ 台風第 18 号は、25 日には非常に強い勢力で沖縄・奄美に接近し、その後、強い勢力を維持して東シナ海に進む見込み。このため、熊本県では 25 日から 27 日頃に強風等の影響が及ぶ可能性がある。最新の防災気象情報に留意。

2 被害情報・対応状況等

■道路（8/23 06:00 時点）

○高速道路

[被災による通行止め：1 路線 1 区間]

- ・ E3A 南九州道（八代 JCT～八代南 IC）：1 区間：橋梁損傷

○有料道路

[被災による通行止め：なし]

○直轄国道（直轄高速除く）

[被災による通行止め：なし]

○補助国道

[被災による通行止め：1 県 1 区間]

- ・ 国道 219 号（熊本県八代市）橋梁損傷（新萩原橋）

※緊急車両通行可

○都道府県道等

[被災による通行止め：2 県 2 区間]

- ・ 熊本県 1 区間（落石 1）

※このほかに側道橋（歩道部）の落橋が 1 区間あり（県道 42 号植柳橋）

- ・ 宮崎県 1 区間（落石 1）

○孤立集落

都道府県	市町村	地区名	被災内容	孤立集落	集落へのアクセス	ライフライン等
現時点で孤立集落なし						

○防災道の駅・道の駅活用情報等

[被災情報：あり]

・道の駅「竜北」（熊本県氷川町）：

トイレ等損傷：防災用コンテナ型トイレ設置済み（8月2日）

（駐車場の舗装損傷は応急復旧済み）

[活用情報等：なし]

[道の駅に配備している防災用コンテナ型トイレの派遣]

・トイレ環境確保のため道の駅の防災用コンテナ型トイレを被災地に8月6日までに15台派遣。さらに8台の派遣を準備

○ライフライン

・ライフライン（電力、通信、上下水道、鉄道）について、連絡調整実施済み。現時点で道路への要請なし（ホットライン構築済み、災害時の連携を確認済み）

○道路啓開及び交通マネジメント

- ・被災地への主要アクセスとなる国道3号及び国道57号のアクセスを確保
- ・発災当初約142kmにわたり規制を実施したが、復旧作業を進め約135kmを規制解除
- ・8月14日6時に、一部対面通行（川田橋付近）となるが九州道全線（松橋ICからえびのIC）で一般車両も通行可能（九州道により、福岡側と宮崎側の双方から八代までのアクセスルートが確保）
- ・8月18日6時に、南九州道について、八代南ICから田浦ICの区間において、一般車両も通行可能（南九州道による八代へのアクセスルートが確保）
- ・九州道と南九州道を連絡する八代JCTから八代南IC間の復旧方法について、NEXCO西日本が有識者委員会を設置し、8月6日に第1回検討委員会を開催し、検討に着手
- ・お盆期間の東九州道への広域迂回を呼び掛けるとともに、料金調整を8月7日から16日まで実施
- ・7月29日から災害派遣従事車両を対象として高速無料措置を実施
- ・九州の関係機関により国道3号等の渋滞緩和に向けた調整を実施

8月3日には並行する県道14号を2車線で復旧し、迂回案内をしつつ、国道3号や、並行する県道14号の利用交通の分散を図るため、混雑時間帯をSNS等での周知を実施

- ・国道3号については、8月4日から7日（夜間）で、主要3箇所の路面修繕を完了。その他の12箇所についても、8月10日から14日（夜間）で完了
- ・並行する県道338号の横江大橋については17日に一般車両通行可
- ・国道219号の新萩原橋については8月27日6時に通行可能となる予定

○その他

- ・8月1日までに熊本県管理の被災橋梁(8橋)、八代市管理の被災橋梁(2橋)、宇土市管理の被災橋梁(2橋)の計12橋で技術支援を実施

■鉄道（8/23 08:30 時点）

○施設被害

- ・JR九州 九州新幹線

熊本駅～新水俣駅間

構造物の変状 約600箇所

（防音壁落下、橋脚・橋桁変状、高架橋損傷等）

軌道変状 約300箇所

（レールの歪み、継目部の破断、部材の損傷等）

- ・JR九州 鹿児島線

宇土駅～八代駅間

構造物の変状 約40箇所

（橋りょう変状、乗降場変状）

軌道変状 約100箇所

（レールの歪み）

電柱等電気設備損傷多数

- ・肥薩おれんじ鉄道 肥薩おれんじ鉄道線

八代駅～水俣駅間

軌道変状、架線断線、乗降場破損等 計96箇所

○運行状況

＜新幹線＞

- ・運転を見合わせている路線：九州新幹線 熊本駅～新水俣駅間

〈在来線〉

- ・ 運転を見合わせている路線：2 事業者 2 路線

J R 九州 鹿児島線 宇土駅～八代駅間

(※宇土駅～小川駅間において、バスによる代替輸送を実施

また、8 月 26 日より、宇土駅～八代駅間において、バス代行輸送
を実施予定)

肥薩おれんじ鉄道 肥薩おれんじ鉄道線 八代駅～水俣駅間

(※バスによる代替輸送を実施)

■航空 (8/22 23:00 時点)

○空港の震度

震度 6 弱 熊本空港

震度 5 強 天草飛行場

震度 4 鹿児島空港、宮崎空港、長崎空港、佐賀空港

震度 3 以下省略

○空港の状況等

〈熊本空港〉

- ・ 滑走路閉鎖解除済 (閉鎖時間：7/28 16:27～7/28 19:05)
- ・ ターミナルビル内の停電復旧済
- ・ ターミナルビル内エレベーター復旧済
- ・ 7/29～通常運用

〈天草飛行場〉

- ・ 進入角指示灯復旧済
- ・ 7/29～通常運用

〈その他空港〉

- ・ 被害なし

○運航への影響

〈熊本空港〉

7 月 28 日 欠航：29 便 ※発災以降の運航なし

7 月 29 日 欠航：14 便

7 月 30 日～地震を起因とする欠航なし

〈天草飛行場〉

7 月 28 日 欠航：2 便

7 月 29 日 欠航：1 便

7 月 30 日～地震を起因とする欠航なし

○TEC-FORCE の派遣状況

(派遣終了)

本省航空局（建築職）：2 名、大阪航空局（建築職）：2 名（7/29）

本省航空局（管制職）：1 名（8/1～8/4）

本省航空局（管制職）：1 名（7/31～8/8）

大阪航空局（管制職）：1 名（7/29～7/31）

大阪航空局（管制職）：1 名（7/29～8/1）

大阪航空局（管制技術職）：1 名（7/29～7/30）

大阪航空局（管制技術職）：1 名（7/30～7/31）

■海事（8/22 21:00 時点）

- ・ 熊本県内の一部の造船会社の工場の壁にヒビ、フェリー事業者の船舶の船体損傷といった被害が発生。八代市所在の事業所（ヤマハマリン）において、複数名の従業員が軽い打撲を負っていた旨の追加報告があったが、大きな人的被害は生じていない。
- ・ 運休情報なし
- ・ 船員法、船員職業安定法、船舶職員及び小型船舶操縦者法、船舶安全法の手続きについて、有効期間の延長等の弾力的な措置を実施する旨を周知。

■物流・自動車（8/22 22:00 時点）

○高速バスの状況

福岡県、熊本県発着便を中心に、4 事業者 4 路線運休

○路線バスの状況

熊本県内において、1 事業者 11 路線で運休

路線バス車内事故転倒事故 1 件発生（軽傷）

○宅配便の状況

4 事業者で一部地域の集配遅延

○プッシュ型支援の状況

支援物資を調達する関係省庁（農水省、経産省等）において輸送手段を確保できない物資の輸送について、国土交通省から全日本トラック協会に輸送の手配を要請。これまでに飲料や食料等の被災者の生活に必要な物資を熊本県内の広域物資拠点へ配送。

○タクシーの被害状況

熊本県等の 26 事業者において、事務所及び車庫の一部損壊等

○トラックの被害状況

熊本県内において、2 事業者で事務所が全壊
92 事業者において、事務所、車庫等が一部損壊

○倉庫事業者の被害状況

熊本県内において、51 事業者の物流施設で被害（壁の一部剥落：10 事業者、貨物落下・散乱：11 事業者、シャッター歪み等の軽微損傷等：30 事業者）

○自動車整備事業者の被害状況

熊本県内において、人的被害 1 名（リフト作業中に両足を挟まれ、現在入院中）、施設被害 55 件（リフトからの車両の脱落、シャッター等の損傷）、事業継続支障 7 件（シャッターや整備機器の損傷）

○関係施設の被害状況

（独）自動車事故対策機構熊本支所の天井材の一部が落下

○各種特例措置

【トラック事業者等向け特例措置】

- ・他地域から臨時的に車両を派遣して支援物資の輸送等を行えるよう、営業所間の増減車に係る事業計画の変更を不要とすること等を内容とする事務連絡を 8 月 3 日に発出。
- ・がれき撤去やインフラ補修等の復旧作業に必要な資材等の輸送について、相当の緊急性や必要性が認められる場合は、道路運送法第 78 条 1 号に基づく白ナンバー車両での有償運送を認める旨の事務連絡を 8 月 3 日に発出。地方整備局、建設業団体や建材等団体にも周知。

【自動車検査証及び自賠責保険の有効期間の伸長】

- ・熊本県を使用の本拠の位置とする車両のうち、自動車検査証及び自賠責保険の有効期間満了日が令和 8 年 7 月 29 日から令和 8 年 8 月 28 日までのものについては、有効期間を令和 8 年 8 月 31 日まで伸長

【自動車登録申請書類の有効期間の伸長】

- ・被災地域内に住所を有する者等について、災害発生日前に作成された各書面（印鑑登録証明書、自動車保管場所証明書、住所を証する書面）の

有効期間を令和9年1月27日まで伸長する旨8月7日に通達を発出。

【自動車登録申請書類の弾力的運用】

- ・被災地域内に住所を有する者等について、永久抹消登録申請に際し、申請人からの申立書をもって「罹災証明書」に代える等の内容とする旨8月7日に通達を発出。

■水道（8/23 7:30 時点）

- 4県（15自治体）において断水が発生（最大断水戸数約108,100戸）。
 - 熊本県の3自治体において約3,600戸が断水中。そのうち約330戸は通水済み（漏水調査に必要な水量・水圧確保のため、使用自粛を要請中）。
 - 日本水道協会、地方整備局等による応急給水を実施中。
 - 給水ニーズを踏まえた給水箇所の拡充、避難所・医療機関への優先の徹底などのため、関係機関と連携し、現地応急給水支援本部を設置。
 - 避難所・医療機関に加え、福祉施設などの重要施設における給水ニーズを把握し、優先度を踏まえ応急給水を実施。
 - 水資源機構が保有する可搬式浄水装置を設置し、氷川町において8月4日より稼働。8月9日より入浴施設への給水に活用。水道の復旧に伴い22日に可搬式浄水装置の稼働を停止。今後の活用については、ニーズを踏まえて検討。
 - 自治体（熊本県及び菊陽町）からの申請に基づき、既存井戸の所在地等の情報提供を実施。
 - 国土交通省及び日本水道協会より先遣隊を被災自治体へ派遣し、水道の被害状況や復旧に係るニーズを確認済み。被害が甚大な自治体の復旧支援を行うための水道技術者を、8月1日より被災自治体に派遣。
 - 8月2日より日本下水道事業団も職員を派遣。
 - 応急復旧については、8月末の断水解消※に向け、全力で取り組む。
- ※断水解消とは、修繕等により水道本管まで通水可能になることをいう。
- 被災地で多く使われている井戸への対策を進めるため、現地応急給水支援本部の下に、8月11日に「井戸水対応チーム」を新たに設置。井戸の洗浄が開始されたところであり、工事業者の確保などの支援を行う。

県・市町村 ・事業者名	断水戸数（戸）		断水	被害等の状況
	最大	現在	期間	
【福岡県】				
柳川市	7	0	7/28	・復旧済
【佐賀県】				

太良町	41	0	7/28～29	・復旧済
【長崎県】				
南島原市	約439	0	7/28～29	・復旧済
【熊本県】				
熊本市	約20,970	0	7/28～8/3	・復旧済
八代市	約25,269	<u>688</u>	7/28～	・管破損に伴う漏水 ・一部地域で試験通水実施中
宇土市	約12,200	0	7/28～8/1	・復旧済
上天草市	約7,670	0※	7/28～8/1	※夜間断水あり
宇城市	約18,000	2,579	7/28～	・管破損に伴う漏水 ・一部地域で試験通水実施中
天草市	約1,100	0	7/28～8/1	・復旧済
合志市	不明	0	7/28	・復旧済
御船町	約2,600	0	7/28～8/1	・復旧済
甲佐町	約500	0	7/28～8/7	・復旧済
氷川町	約3,231	<u>342</u>	7/28～	・管破損に伴う漏水 ・一部地域で試験通水実施中
芦北町	約1,000	0	7/28～8/1	・復旧済
人吉市	約15,000	0	7/29～30	・復旧済
合計	約108,100	約 <u>3,600</u>		

○給水車の派遣状況

(単位：台)

被災水道事業者	計	国交省	日水協	自衛隊
八代生活環境事務組合 (八代市と氷川町で構成 される一部事務組合)	<u>20</u>	3	<u>17</u>	0
宇城市	<u>23</u>	4	<u>17</u>	2
八代市	<u>62</u>	10	<u>50</u>	2
宇土市	4	1	1	2
熊本市	2	0	0	2
(派遣先調整中)	<u>8</u>	0	<u>8</u>	0
計	<u>119</u>	18	<u>93</u>	8

■下水道（5弱以上の施設）（8/23 7:30 時点）

●熊本県

○処理場（対象：30 施設）

- ・点検完了・異常なし：24 施設
- ・軽微な異常あり（水処理機能に影響なし）：6 施設

○ポンプ場（対象：101 施設）

- ・点検完了・異常なし：100 施設
- ・軽微な異常あり（揚水機能に影響なし）：1 施設

○管路（対象：25 自治体）

- ・点検完了・異常なし：18 自治体
- ・軽微な異常あり（流下機能に影響なし）：7 自治体

○日本下水道事業団(JS)が災害支援協定に基づき、水俣市、益城町、宇土市、宇城市を支援

●福岡県、佐賀県、長崎県、宮崎県、鹿児島県

○対象施設について点検完了し、異常なし

■海岸（8/23 08:30 時点）

- ・点検状況については次のとおり。

福岡県：点検完了、被害なし

佐賀県：点検完了、被害なし

長崎県：点検完了、被害なし

熊本県：点検完了、10 海岸被害あり 護岸にクラックや損傷被害。

全22箇所では緊急対策完了

鹿児島県：点検完了、被害なし

- ・点検対象海岸：以下のとおり

熊本県：79 海岸

野崎海岸、豊川海岸、不知火海岸、桂原海岸、永尾海岸、手場海岸、新地海岸、金桁海岸、黒崎海岸、尺の浦海岸、片島東海岸、千崎海岸、浪浦海岸、大田尾海岸、明治新田海岸、平岩海岸、長部田海岸、御立岬海岸、大潟海岸、治郎田海岸、鷹巣海岸、新開海岸、梅木海岸、大桜海岸、鷺の浦海岸、下山海岸、小仏海岸、瀬高海岸、鯨道海岸、山田海岸、鳩之釜海岸、七ツ割海岸、火崎海岸、湯の児海岸、大迫海岸、男島海岸、古川海岸、中形浦海岸、浦海岸、塔の崎海岸、戸ノ崎海岸、石場海岸、東外園海岸、江崎海岸、須森海岸、船場海岸、前潟海岸、観音海岸、大宮地海岸、荒新開海岸、檜浦海岸、横島海岸、大坪海岸、浦ノ迫海岸、松崎海岸、鬼海浦海岸、浜平海岸、大ノ浦海岸、井出迫海岸、砂月海岸、米淵海岸、里浦海岸、首海岸、四名田海岸、早浦海岸、向海岸、大田迫海岸、志柿海岸、美越海岸、下津

江海岸、瀬戸海岸、萱之木海岸、小松海岸、竹の迫海岸、年柄海岸、
白木尾海岸、釜海岸、野々木河内海岸、唐人岩海岸

長崎県：16海岸

坂下海岸、石田海岸、田平海岸、大江海岸、吉川海岸、小長井海岸、
平江海岸、道祖崎海岸、諫早海岸、多良見海岸、平江海岸、道祖崎海
岸、大正海岸、西郷海岸、神代海岸、多比良海岸

福岡県：3海岸

若津港柳川海岸、大和海岸、高田海岸

佐賀県：3海岸

有明海岸、白石海岸、福富海岸

鹿児島県：9海岸

東市来海岸、市来海岸、串木野海岸、阿久根海岸、高尾野海岸、出水
海岸、長島海岸、東海岸、黒之浜海岸

■港湾（8/23 08:30 時点）

○九州西側5県※で震度4以上を観測した港湾が合計99港。うち、三角
港で震度7、八代港・日奈久港・鏡港で震度6強、姫戸港・合津港・上
天草港で震度6弱を観測。※福岡、佐賀、長崎、熊本、鹿児島

○ 熊本県内港湾の主な被災状況は以下の通り。

（八代港）

- ・ 公共岸壁全てにおいて被災し、岸壁背後の段差、液状化、陥没等の被害が発生。研究所 TEC-FORCE による利用可否判定を順次実施。
- ・ 7/29（水）に海上保安庁の巡視船を受入、7/30（木）に海上自衛隊の支援船を受入。8/4（火）に防衛省の PFI 船「はくおうⅡ」を受入。8/12（水）から、外港地区穀物バース（水深-14m）において穀物運搬船の利用が再開。
- ・ 8/17（月）、研究所 TEC-FORCE を中心とした専門的検討および応急復旧工事により、貨物船が利用可能な岸壁として外港地区 150m 岸壁（水深-10m）、内港地区 440m 岸壁（水深-5.5m）が増えて計 3 バースに回復。
- ・ 今後、全国からの海上による支援活動と経済活動の両立を念頭に、熊本県と連携し、使用可能な岸壁をできるだけ確保すべく、施設の早期復旧を進める。これにあたり有識者や業界団体等で構成する「八代港被災施設復旧技術検討委員会」を 8/12（水）に設置。
- ・ コンテナクレーンについては、レールの変状やクレーンの油漏れが発生。復旧対策について検討中。
- ・ 熊本県より、港湾法第 55 条の 3 の 3 に基づく国による管理代行の要請を受け、8/3（月）から八代港の港湾施設の一部の管理を開

始。当面の間、管理を受けた係留施設について、利用調整を実施。

(熊本港)

- ・フェリー渡橋（県財産）が船体と接触・損傷したため、7/30(木)から車輛のみで運行再開。8/1(土)に臨時ルートで徒歩利用を再開していたが、修繕が完了し、8/11(火)よりフェリー渡橋が供用開始。

○給水支援等

- ・八代港外港地区において「清龍丸（中部地整）」が8/1（土）から8/4（火）まで支援物資の供給のほか、給水や入浴の支援を実施。
- ・三角港において「白山（北陸地整）」が8/1（土）から8/5（水）まで支援物資の供給のほか、給水、入浴および洗濯の支援を実施。
- ・八代港内港地区において調査観測兼清掃船（海輝、海煌）が7/31（金）から給水（飲料水）支援を実施中。
- ・被災者に向けて、給水支援情報などの港からの支援状況について、海上保安庁と連携し、SNSを通じて情報を随時発信。

○港湾関係の TEC-FORCE 8/23 の派遣人数：28 名

■河川・ダム（点検対象 震度5弱以上）（8/23 08:30 時点）

○国管理河川：6 水系 29 河川で点検完了済

- ・筑後川水系 筑後川、諸富川、早津江川、佐賀江川、城原川、田手川
 - ・菊池川水系 菊池川、繫根木川、木葉川、岩野川、合志川、迫間川、上内田川
 - ・白川水系 白川
 - ・緑川水系 緑川、加勢川、浜戸川、御船川
 - ・球磨川水系 球磨川、前川、南川、川辺川
 - ・川内川水系 川内川、八間川、隈之城川、樋渡川、羽月川、綿内川、長江川
- ・国管理河川では、3 水系 8 河川※91 箇所では堤防天端のクラックなどの被害を確認。
- ※球磨川水系 球磨川、前川、南川
白川水系 白川
緑川水系 緑川、浜戸川、御船川、加勢川
- ・上記の内、250mにわたり堤防の沈下や亀裂、はらみ出しが生じた等、球磨川堤防で緊急的な応急復旧工事を3箇所を実施し、完了済。
 - ・その他の国管理河川の被害箇所88箇所についても応急対策を完了済。
 - ・なお、球磨川の下流部では、出水時の避難判断の目安となる洪水予報等

の発表基準である、氾濫危険水位などを引き下げて運用中。

○県管理河川：72 水系 218 河川で点検完了済

- ・福岡県：2 水系 8 河川
- ・佐賀県：1 水系 3 河川
- ・長崎県：5 水系 5 河川
- ・熊本県：52 水系 165 河川
- ・宮崎県：4 水系 12 河川
- ・鹿児島県：6 水系 17 河川
- ・熊本市：2 水系 8 河川

- ・福岡県、佐賀県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、熊本市管理河川では、被害無し。
- ・熊本県管理河川では、43 河川 295 箇所です堤防沈下や護岸の変状などを確認し、応急対策完了済※。

※損傷が軽微なため経過観察とする 260 箇所を含む

- ・なお、熊本県管理の 7 河川で、出水時の避難判断の目安となる水位到達情報等の発表基準である、氾濫危険水位などを引き下げて運用中。

○7 月 29 日 22 時 19 分頃に熊本県で発生した震度 5 弱の地震対応

- ・国管理河川（1 水系 3 河川）、県管理河川（6 水系 8 河川）について点検完了。

○8 月 1 日 21 時 47 分頃に熊本県で発生した震度 5 弱の地震対応

- ・県管理河川（3 水系 7 河川）について点検完了。

○ダム

- 直轄建設ダム：1 ダム（点検完了、異常なし）
- 直轄管理ダム：4 ダム（点検完了、異常なし）
- 機構管理ダム：0 ダム
- 都道府県管理ダム：15 ダム（点検完了、異常なし）
- 利水ダム：37 ダム（点検完了、異常なし）
- 補助建設ダム：点検対象なし

- ・7 月 29 日 22 時 19 分頃に熊本県で発生した最大震度 5 弱の対応
震度 5 弱以上の点検対象ダム（都道府県管理ダム：1 ダム、利水ダム：3 ダム）の点検を完了し、異常なし。

■砂防

○レベル4土砂災害危険警報（8/23 08:30 時点）

- ・震度5強以上を観測した市町村において、レベル4土砂災害危険警報の発表基準を引き下げた暫定基準による運用を開始
（7月28日19時30分報道発表）
- ・新たに判明した震度データに基づき、暫定基準を一部変更
（7月30日17時報道発表）
- ・通常基準の7割（震度7・6強・6弱）：1県14市町村（熊本県）
通常基準の8割（震度5強）：3県12市町（熊本県、長崎県、鹿児島県）
なお、レベル3土砂災害警報及びレベル2土砂災害注意報の発表基準についても、通常基準より引き下げた暫定基準を設けて運用。

○土砂災害発生状況（8/22 20:00 時点）

- ・宮崎県 4件（うち1件で、人家一部損壊1戸。人的被害なし）
- ・熊本県 7件（うち1件で、人家一部損壊1戸。人的被害なし）

○点検対象施設数

【直轄】長崎県 65施設（全施設点検完了。異常なし）

熊本県

（阿蘇砂防） 39施設（全施設点検完了。異常なし）

（川辺川砂防）37施設（全施設点検完了。異常なし）

【補助】佐賀県 2施設（全施設点検完了。異常なし）

長崎県 1施設（全施設点検完了。異常なし）

熊本県 400施設（全施設点検完了。異常なし）

2施設で落石防護柵等の損傷被害

※対応方策検討中）

※7月29日の震度5弱を観測した地震により、
再点検対象となった施設をすべて点検完了
し、異常なし

※8月1日の震度5弱を観測した地震では、点検
対象となる施設は無し。

宮崎県 53施設（全施設点検完了。異常なし）

鹿児島県 97施設（全施設点検完了。異常なし）

■公園・都市（8/23 08:30 時点）

○被災状況

（1）都市公園

熊本県内で77公園被災

熊本県（4公園）：熊本県民総合運動公園、県営八代運動公園、

水俣広域公園、熊本県テクノ中央緑地

熊本市（27 公園）：熊本城公園ほか 26 公園

八代市（26 公園）：鏡ヶ池公園ほか 25 公園

人吉市（1 公園）：人吉城跡公園

宇城市（6 公園）：岡岳公園ほか 5 公園

南関町（1 公園）：南関町総合運動公園

大津町（1 公園）：大津町運動公園

嘉島町（5 公園）：高田みんなの広場公園ほか 4 公園

益城町（2 公園）：秋津川河川公園ほか 1 公園

甲佐町（1 公園）：熊本甲佐総合運動公園

美里町（1 公園）：美里町カントリーパーク

氷川町（1 公園）：竜北公園

芦北町（1 公園）：芦北海浜総合公園

（2）都市施設

熊本県内 15 施設で被災

熊本県（5 施設）：木山宮園線ほか 4 路線（街路）

八代市（9 施設）：区画道路 6-33 ほか 7 路線（街路）

前川右岸プロムナード（都市施設）

宇土市（1 施設）：都市計画道路北段原線（街路）

○都市公園の活用状況

- ・物資運搬等の拠点として都市公園を活用
（熊本県営八代運動公園等）
- ・地域の避難場所として都市公園を活用
（東中洲児童公園等）

○熊本城公園の状況

- ・文化庁が実施する文化財等の被災状況調査に九州地方整備局（1 名）が
同行【8 月 3 日】
- ・8 月 13 日（木）より開園

■住宅（8/23 08:00 時点）

○被災建築物応急危険度判定の状況

熊本県（8 月 11 日時点で 9,553 件の判定を実施）

8 月 13 日：県内における被災建築物応急危険度判定が終了した旨を公表
（7/29～8/10）宇城市
（7/29～8/8）氷川町

(7/30～8/11) 熊本市
(8/1～8/9) 八代市
(8/1～8/6) 芦北町
(8/2) 宇土市
(8/2～8/8) 美里町
(8/2～8/4) 嘉島町

○公的賃貸住宅の被害状況

公営住宅：公営住宅 147 団地で一部損壊等（熊本県八代市、人吉市、玉名市、宇土市、宇城市、上天草市、合志市、和水町、大津町、菊陽町、御船町、氷川町、相良村、水俣市、美里町、益城町、嘉島町、山都町、湯前町、熊本市）

○エレベーター閉じ込め情報

閉じ込めが 32 件（熊本県 29 件、鹿児島県 1 件、福岡県 2 件）発生。
全救出済み。
(※日本エレベーター協会会員社が保守を行っているもの)

○被災者の住まいの確保関係

(1) 公営住宅等の空室提供

- ・熊本県内で公営住宅 382 戸の空室を確保。
- ・熊本県営住宅 37 戸、熊本市営住宅 59 戸 8/6 受付開始。
- ・熊本県営住宅 9 戸で受入決定。
- ・市町村営住宅において、12 市町村※において入居者の募集を開始。
※12 市町村：熊本市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、山鹿市、菊池市、天草市、和水町、西原村、山都町、多良木町
- ・全国の地方公共団体に協力要請（8/3）
- ・独立行政法人都市再生機構（UR）に協力要請（8/4）
- ・UR 賃貸住宅を全国で 140 戸確保（8/6）

(2) 賃貸型応急住宅

- ・賃貸関係団体に協力要請（7/30）
（公社）全国賃貸住宅経営者協会連合会

(参考) 賃貸型応急住宅の受付開始状況について

- ・21 市町村（熊本市、八代市、水俣市、山鹿市、菊池市、宇土市、天草市、宇城市、上天草市、合志市、美里町、西原村、御船町、益城町、甲佐町、嘉島町、氷川町、菊陽町、芦北町、大津町、津奈木町）で受付中

※災害救助法が適用されたすべての市町村で受付を開始。

(3) 建設型応急住宅

- ・住宅生産関係団体に協力要請 (7/28)
 - (一社) プレハブ建築協会
 - (一社) 全国木造建設事業協会
 - (一社) 日本木造住宅産業協会
- ・石川県、岩手県、UR 都市機構の建築系職員 7 名が熊本県庁にて業務支援を開始 (8/10)

(参考) 建設型応急住宅の着工状況について

- ・宇城市 3 団地 50 戸、氷川町 1 団地 20 戸の建設に着手 (8/3)
- ・美里町で 1 団地 12 戸の建設に着手 (8/9)
- ・熊本市で 3 団地 50 戸の建設に着手 (8/10)
- ・氷川町で 2 団地 42 戸の建設に着手 (8/10)
- ・八代市で 1 団地 18 戸の建設に着手 (8/11)
- ・氷川町で 1 団地 13 戸の建設に着手 (8/13)
- ・八代市で 2 団地 51 戸の建設に着手 (8/18)
- ・甲佐町で 1 団地 20 戸の建設に着手 (8/18)
- ・宇土市で 1 団地 17 戸の建設に着手 (8/22)
- ・美里町で 1 団地 40 戸の建設に着手 (8/22)
- ・八代市で 1 団地 35 戸の建設に着手 (8/22)

	熊本市	八代市	宇城市	氷川町	美里町	甲佐町	宇土市	計
整備決定 (団地数)	50 戸 (3 団地)	<u>104 戸</u> (4 団地)	50 戸 (3 団地)	75 戸 (4 団地)	<u>52 戸</u> (2 団地)	20 戸 (1 団地)	<u>17 戸</u> (1 団地)	<u>368 戸</u> (18 団地)
着工済 (団地数)	50 戸 (3 団地)	<u>104 戸</u> (4 団地)	50 戸 (3 団地)	75 戸 (4 団地)	<u>52 戸</u> (2 団地)	20 戸 (1 団地)	<u>17 戸</u> (1 団地)	<u>368 戸</u> (18 団地)

(4) 住宅の補修への対応

- ・登録リフォーム事業者団体に協力要請 (7/29)
- ・被災住宅の補修等に関する電話相談のためのフリーダイヤル開設
(8/25 予定)

(5) 住宅金融支援機構

- ・災害復興住宅融資に関する相談窓口の設置 (7/29)
 - ① 自治体からの要請に基づき相談窓口機構職員を派遣する地域・日程

	地域（市町）	日程（予定含む）
熊本県	八代市	8/12、8/13、8/14、8/17、8/18、（当面の間、平日は相談会を実施予定）
	氷川町	準備中
	宇城市	準備中

②

災害復興住宅融資の受理状況

報告日	受理件数（件）	実行件数（件）
8/19（水）	0 件	0 件

○技術的助言などの支援状況

（１）八代市役所

- ・ 7/31～8/1 国土技術政策総合研究所・建築研究所の研究者を現地派遣し、被害状況等を確認
- ・ 8/8 国土技術政策総合研究所の研究者を現地派遣し、技術的助言等を実施

（２）日本製紙八代工場

- ・ 8/9 住宅局職員、国土技術政策総合研究所・建築研究所の研究者を現地派遣し、経済産業省とともに被害状況等を確認、工場担当者と意見交換を実施

■官庁施設

- ・ 災害応急対策活動を実施する官庁施設のうち、14 施設で軽微な建物被害が確認されたが、活動に支障となる被害報告は無し。

■観光

- ・ 宿泊施設の被害：12 件（建物被害のため営業休止）
- ・ 観光施設の被害：1 件（建物被害のため営業休止）

3 TEC-FORCE 等の活動

(1) ホットラインの構築状況（５弱以上）

26 市 22 町 8 村と構築済み

都道府県	ホットライン構築数
熊本県	13 市 18 町 7 村
鹿児島県	5 市 3 町
宮崎県	2 市 1 村
佐賀県	1 市 1 町
福岡県	2 市

長崎県	3 市
-----	-----

(2) TEC-FORCE【現時点 98 人派遣】（これまでのべ 4,507 人・日（予定含む））

○リエゾン：【現時点 26 人派遣】（これまでのべ 814 人・日（予定含む））

○JETT：【現時点 2 人派遣】（これまでのべ 265 人・日（予定含む））

○被災状況調査班等：【現時点 70 人派遣】（これまでのべ 3,428 人・日（予定含む））

これらのうち、本省からの派遣状況：【現時点 30 人派遣（指定職 2 人を含む）】
（これまでのべ 708 人・日（予定含む））

リエゾン派遣先		派遣元	～8/21	8/22	8/23	合計
都道府県	市町村等		763	25	26	814
熊本県	熊本県庁	本省（水局）	107	4	5	116
熊本県	熊本県庁	本省（住宅局）	24	1	1	26
熊本県	熊本県庁	本省（道路局）	33	1	1	35
熊本県	熊本県庁	本省（港湾局）	78	3	3	84
熊本県	八代港	本省（港湾局）	36	2	2	40
熊本県	熊本県庁	本省（物自局）	47	2	2	51
熊本県	熊本県庁	本省（運安防）	27	2	1	30
熊本県	熊本県庁	国土地理院	56	2	2	60
熊本県	熊本県庁	九州地整	70	0	0	70
長崎県	長崎県庁	九州地整	4	0	0	4
鹿児島県	鹿児島県庁	九州地整	2	0	0	2
熊本県	八代市	九州地整	95	4	4	103
熊本県	宇城市	九州地整	39	1	1	41
熊本県	氷川町	九州地整	42	1	1	44
熊本県	美里町	九州地整	9	0	0	9
熊本県	宇土市	九州地整	26	0	0	26
熊本県	甲佐町	九州地整	5	0	0	5
熊本県	熊本県庁	九州運輸	63	2	3	68

JETT 派遣先		派遣元	～8/21	8/22	8/23	合計
都道府県	市町村等		256	5	4	265
熊本県	熊本県庁	福岡管区气象台	185	5	4	194
熊本県	八代市	福岡管区气象台	5	0	0	5
熊本県	氷川町	福岡管区气象台	5	0	0	5
熊本県	宇城市	福岡管区气象台	6	0	0	6
熊本県	芦北町	福岡管区气象台	2	0	0	2

熊本県	宇土市	福岡管区気象台	5	<u>0</u>	<u>0</u>	5
熊本県	熊本市	福岡管区気象台	2	<u>0</u>	<u>0</u>	2
熊本県	甲佐町	福岡管区気象台	2	<u>0</u>	<u>0</u>	2
熊本県	美里町	福岡管区気象台	2	<u>0</u>	<u>0</u>	2
熊本県	嘉島町	福岡管区気象台	2	<u>0</u>	<u>0</u>	2
熊本県	合志市	福岡管区気象台	2	<u>0</u>	<u>0</u>	2
熊本県	大津町	福岡管区気象台	5	<u>0</u>	<u>0</u>	5
熊本県	西原村	福岡管区気象台	2	<u>0</u>	<u>0</u>	2
熊本県	益城町	福岡管区気象台	2	<u>0</u>	<u>0</u>	2
熊本県	上天草市	福岡管区気象台	2	<u>0</u>	<u>0</u>	2
熊本県	御船町	福岡管区気象台	2	<u>0</u>	<u>0</u>	2
長崎県	長崎県庁	福岡管区気象台	4	<u>0</u>	<u>0</u>	4
佐賀県	佐賀県庁	福岡管区気象台	4	<u>0</u>	<u>0</u>	4
福井県	福井県庁	東京管区気象台	2	<u>0</u>	<u>0</u>	2
熊本県	菊陽町	福岡管区気象台	3	<u>0</u>	<u>0</u>	3
熊本県	菊池市	福岡管区気象台	3	<u>0</u>	<u>0</u>	3
熊本県	天草市	福岡管区気象台	2	<u>0</u>	<u>0</u>	2
熊本県	山鹿市	福岡管区気象台	3	<u>0</u>	<u>0</u>	3
熊本県	水俣市	福岡管区気象台	2	<u>0</u>	<u>0</u>	2
熊本県	津奈木町	福岡管区気象台	2	<u>0</u>	<u>0</u>	2

被災状況調査班等 派遣先		派遣元	班	詳細	～8/21	8/22	8/23	合計
都道府県	市町村等				<u>3282</u>	<u>76</u>	<u>70</u>	
熊本県	熊本市	本省	先遣調査班	上下水	113	<u>7</u>	<u>7</u>	<u>127</u>
熊本県	熊本県庁	本省	先遣調査班	上下水	92	<u>6</u>	<u>6</u>	<u>104</u>
熊本県	八代市等	本省	先遣班	港湾	11	<u>0</u>	<u>0</u>	11
熊本県	益城町	本省	先遣班	空港	15	<u>0</u>	<u>0</u>	15
九州地整	本局	本省	先遣班	港湾	54	<u>2</u>	<u>2</u>	<u>58</u>
熊本県	八代市等	本省	給水支援班	港湾	8	<u>0</u>	<u>0</u>	8
熊本県		本省	高度技術指導班	都市	3	<u>0</u>	<u>0</u>	3
熊本県	八代市等	国総研	高度技術指導班	港湾	15	<u>0</u>	<u>0</u>	15
熊本県	八代市等	国総研	高度技術指導班	道路	10	<u>0</u>	<u>0</u>	10
熊本県	八代市	土研	高度技術指導班	道路	3	<u>0</u>	<u>0</u>	3
熊本県	八代市等	港空研	高度技術指導班		18	<u>0</u>	<u>0</u>	18
熊本県	熊本地方	国土地理院	被災状況調査班	航空測量 グループ	16	<u>0</u>	<u>0</u>	16
熊本県	熊本地方	国土地理院	被災状況調査班	現地調査	15	<u>0</u>	<u>0</u>	15

				グループ				
熊本県	熊本県庁	九州地整	先遣調査班		15	<u>0</u>	<u>0</u>	15
熊本県	熊本県庁	九州地整	広報班		42	<u>0</u>	<u>0</u>	42
熊本県	宇城市	九州地整	先遣調査班		12	<u>0</u>	<u>0</u>	12
熊本県	氷川町	九州地整	先遣調査班		12	<u>0</u>	<u>0</u>	12
熊本県	八代市	九州地整	先遣調査班		12	<u>0</u>	<u>0</u>	12
熊本県	八代市等	九州地整	被災状況調査班	ヘリ調査	25	<u>0</u>	<u>0</u>	25
長崎県	島原市	九州地整	被災状況調査班	ヘリ調査	5	<u>0</u>	<u>0</u>	5
熊本県	八代市等	九州地整	港湾空港班		155	<u>4</u>	<u>4</u>	<u>163</u>
熊本県	甲佐町	九州地整	応急対策班		<u>46</u>	<u>2</u>	<u>2</u>	<u>50</u>
熊本県	甲佐町	九州地整	被災状況調査班	ドローン	3	<u>0</u>	<u>0</u>	3
熊本県	美里町	九州地整	情報通信班		6	<u>0</u>	<u>0</u>	6
熊本県	八代市等	九州地整	情報通信班		2	<u>0</u>	<u>0</u>	2
熊本県	熊本県庁	九州地整	現地支援班		106	<u>6</u>	<u>6</u>	<u>118</u>
熊本県	熊本市	九州地整	現地支援班		39	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>45</u>
熊本県	宇城市	九州地整	現地支援班		20	<u>0</u>	<u>0</u>	20
熊本県	宇土市	九州地整	現地支援班		16	<u>0</u>	<u>0</u>	16
熊本県	氷川町	九州地整	被災状況調査班	河川	20	<u>0</u>	<u>0</u>	20
熊本県	氷川町	九州地整	被災状況調査班	河川	9	<u>0</u>	<u>0</u>	9
熊本県	宇城市	九州地整	被災状況調査班	河川	20	<u>0</u>	<u>0</u>	20
熊本県	宇城市	九州地整	被災状況調査班	河川	20	<u>0</u>	<u>0</u>	20
熊本県	八代市	九州地整	被災状況調査班	河川	20	<u>0</u>	<u>0</u>	20
熊本県	八代市	九州地整	被災状況調査班	河川	20	<u>0</u>	<u>0</u>	20
熊本県	宇土市	九州地整	被災状況調査班	河川	88	<u>0</u>	<u>0</u>	88
熊本県	宇城市	九州地整	被災状況調査班	道路	20	<u>0</u>	<u>0</u>	20
熊本県	宇城市	九州地整	被災状況調査班	道路	20	<u>0</u>	<u>0</u>	20
熊本県	宇城市	九州地整	被災状況調査班	道路	20	<u>0</u>	<u>0</u>	20
熊本県	八代市	九州地整	被災状況調査班	道路	6	<u>0</u>	<u>0</u>	6
熊本県	八代市	九州地整	被災状況調査班	道路	16	<u>0</u>	<u>0</u>	16
熊本県	八代市	九州地整	被災状況調査班	道路	20	<u>0</u>	<u>0</u>	20
熊本県	甲佐町	九州地整	被災状況調査班	道路	3	<u>0</u>	<u>0</u>	3
熊本県	美里町	九州地整	被災状況調査班	道路	2	<u>0</u>	<u>0</u>	2
熊本県	熊本市	九州地整	被災状況調査班	建築	1	<u>0</u>	<u>0</u>	1
熊本県	氷川町	九州地整	被災状況調査班	建築	1	<u>0</u>	<u>0</u>	1
九州地整	本局	中国地整	先遣班		56	<u>0</u>	<u>0</u>	56
熊本県	氷川町等	中国地整	応急対策班	給水支援	152	<u>7</u>	<u>7</u>	<u>166</u>
熊本県	甲佐町	中国地整	応急対策班	電源支援	18	<u>0</u>	<u>0</u>	18

熊本県	熊本市	中国地整	被災状況調査班	港湾	52	<u>0</u>	<u>0</u>	52
九州地整	本局	四国地整	先遣班		32	0	0	32
熊本県	熊本市	四国地整	被災状況調査班	ヘリ調査	1	0	0	1
熊本県	八代市等	四国地整	応急対策班	給水支援	65	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>71</u>
熊本県	氷川町等	四国地整	応急対策班	電源支援	6	0	0	6
熊本県	熊本市等	四国地整	被災状況調査班	港湾	48	0	0	48
熊本県	八代市	四国地整	現地支援班	港湾	15	0	0	15
熊本県	八代市	四国地整	現地支援班	港湾	15	0	0	15
熊本県	宇城市等	北海道開発局	応急対策班	給水支援	67	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>73</u>
九州地整	本局	東北地整	先遣班		70	<u>0</u>	<u>0</u>	70
熊本県	宇城市等	東北地整	応急対策班	給水支援	138	<u>6</u>	<u>6</u>	<u>150</u>
九州地整	本局	関東地整	先遣班		64	<u>0</u>	<u>0</u>	64
熊本県	熊本市等	関東地整	応急対策班	給水支援	109	<u>0</u>	<u>0</u>	109
熊本県	八代市	関東地整	現地支援班	港湾	21	<u>0</u>	<u>0</u>	21
九州地整	本局	北陸地整	先遣班	港湾	12	<u>0</u>	<u>0</u>	12
熊本県	宇城市	北陸地整	現地支援班	港湾	331	<u>0</u>	<u>0</u>	331
熊本県	八代市	北陸地整	現地支援班	港湾	9	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>15</u>
熊本県	嘉島町等	北陸地整	応急対策班	給水支援	66	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>72</u>
九州地整	本局	中部地整	先遣班	港湾	22	<u>0</u>	<u>0</u>	22
九州地整	本局	中部地整	先遣班	総括	45	<u>0</u>	<u>0</u>	45
熊本県		中部地整	現地支援班	港湾	323	<u>6</u>	<u>3</u>	<u>332</u>
熊本県		中部地整	応急対策班	給水支援	86	<u>8</u>	<u>5</u>	<u>99</u>
熊本県		中部地整	応急対策班	入浴支援	30	<u>0</u>	<u>0</u>	30
九州地整	本局	近畿地整	先遣班		46	<u>0</u>	<u>0</u>	46
九州地整	本局	近畿地整	輸送支援班		1	<u>0</u>	<u>0</u>	1
熊本県	熊本市等	近畿地整	応急対策班	給水支援	152	<u>4</u>	<u>4</u>	<u>160</u>
熊本県	宇城市	近畿地整	応急対策班	入浴支援	13	<u>0</u>	<u>0</u>	13
熊本県	八代市	沖縄総合	応急対策班	給水支援	9	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>15</u>
熊本県	益城町	大阪航空局	先遣班		13	<u>0</u>	<u>0</u>	13

(3) 災害対策用ヘリコプター等による被災状況調査

- ・ はるかぜ号 熊本県を調査 7/28、7/29、7/30、8/1、8/3、8/4、8/5、8/6、8/20
熊本県、長崎県を調査 8/2
- ・ 愛らんど号 熊本県を調査 7/29
- ・ おりづる号 熊本県、長崎県を調査 7/31
- ・ きんき号 熊本県を調査 8/1

(4) 災害対策用機械等派遣先

○散水車（給水機能付）：現時点派遣 18 台（これまでのべ 451 台・日）

○散水車：現時点派遣 0 台（これまでのべ 3 台・日）

○照明車：現時点派遣 3 台（これまでのべ 330 台・日）

○対策本部車：現時点派遣 1 台（これまでのべ 50 台・日）

○トイレカー：現時点派遣 1 台（これまでのべ 21 台・日）

○コンテナ型トイレ：現時点派遣 15 台（これまでのべ 296 台・日）

○大型浚渫兼油回収船：現時点派遣 0 台（これまでのべ 24 台・日）

○調査観測兼清掃船：現時点派遣 2 台（これまでのべ 52 台・日）

機械名	都道府県	活動内容	台数	稼働	現場 即応 待機	移動	後方 待機・ 撤収	その他
散水車 (給水機能付)	熊本県	給水支援	20	14	4		2	7/28～
	小計		20	14	4		2	
散水車	熊本県	給水支援 (トイレ用)	1				1	7/30～ 8/1
	小計		1				1	
照明車	熊本県	夜間作業支 援・電源支 援・前進配備	22		3		19	7/28～
	小計		22		3		19	
対策本部車	熊本県	後方支援	2	1			1	7/28～
	小計		2	1			1	
トイレカー	熊本県	生活支援	1		1			8/3～
	小計		1		1			
コンテナ型トイレ	熊本県	生活支援	15	15				7/31～
	小計		15	15				
大型浚渫兼油回収船	熊本県	給水支援	2				2	7/29～
	小計		2				2	
調査観測兼清掃船	熊本県	給水支援	2	2				7/29～
	小計		2	2				

(5) 台風 13 号等への備え

- ・日本建設業連合会の協力のもとブルーシート等の物資支援を実施（8/4～）
- ・ブルーシート展張作業要員の調整（熊本県の要請により熊本県建設業協会が 8/6～現地作業を開始）

4 国土交通省の体制等

(1) 大臣指示（7/28 16:29）

(2) 国土交通省 非常災害対策本部会議

(第1回 7/28 19:00、第2回 7/28 22:30、第3回 7/29 10:30、
第4回 7/29 15:30、第5回 7/30 14:30、第6回 7/31 18:10、
第7回 8/1 16:00、第8回 8/4 12:10、第9回 8/5 17:10、
第10回 8/7 16:00、第11回 8/10 16:00、第12回 8/12 16:00、
第13回 8/18 16:00、第14回 8/21 16:00)

(3) 体制等

○非常体制：本省、九州地整、九州運輸、気象庁、地理院、国総研、
土研、建研

5 気象庁の対応状況

- ・気象庁本庁記者会見（7/28 17:30、20:30、8/4 16:00）
- ・気象庁本庁報道発表（7/28 19:15、7/29 15:00、7/30 16:00、7/31 16:00、
8/10 14:00、8/18 14:00）
- ・気象庁災害対策本部（7/28 21:00、7/29 18:00、7/30 16:00、7/31 19:15、
8/1 17:00、8/4 15:30、8/7 10:15、8/10 17:00、8/14 14:00）
- ・気象庁では、令和8年7月28日16時27分に熊本県熊本地方で発生した
地震について、その名称を「令和8年熊本地震」と定めた。
- ・気象庁ホームページに令和8年熊本地震のポータルサイトを開設。

（日本語版）

https://www.jma.go.jp/jma/menu/20260728_kumamoto_jishin.html

（英語版）

https://www.jma.go.jp/jma/en/The_2026_Kumamoto_Earthquake/index.html

- ・土砂災害に関する警報等の暫定的な運用開始（7/28）
- ・高潮に関する警報等の暫定的な運用開始（8/3）
- ・大雨に関する警報等の暫定的な運用開始（8/4）
- ・八代海沿岸地域での浸水・冠水に注意を呼びかけ（8/10）
- ・各地の気象台は、ホットラインや記者会見、説明会等を実施するとともに、
JETT（気象庁防災対応支援チーム）の派遣により、関係する自治体等に地
震活動等の状況について説明を行っている。

6 海上保安庁の対応（8/23 07:30 時点）

○対応勢力

（1）巡視船艇・航空機

- ① 巡視船艇 1 隻（延べ 97 隻）
- ② 航空機 0 機（延べ 13 機）
- ③ 測量船 0 隻（延べ 8 隻）

（2）人員

機動救難士 0名（延べ5名）
特殊救難隊 0名（延べ10名）

（3）リエゾン

福岡県庁 0名（七管区海上保安官）（延べ2名）
長崎県庁 0名（七管区海上保安官）（延べ2名）
熊本県庁 0名（十管区海上保安官）（延べ33名）
政府現地対策本部 2名（十管区海上保安官）（延べ58名）

（4）航行警報 1件

（5）海の安全情報 1件

○被害状況

現在まで、海上における被害情報なし

○その他参考事項

（1）給水等支援

7月29日（水）～8月23日（日）

- ・八代港において自衛隊等給水車両及び住民等に給水支援

【給水支援合計：252台、513世帯、約542.4トン】

- ・八代港において入浴支援

【入浴支援合計：2812名】

- ・八代港において給電支援

【給電支援合計：103名】

- ・三角港において病院等給水車両及び住民等に給水支援

【給水支援合計：79台、851世帯、約313.0トン】

- ・三角港において入浴支援

【入浴支援合計：735名】

- ・三角港において給電支援

【給電支援合計：3名】

（2）人員搬送

- ・7月30日、回転翼機により、患者1名、医師1名及び患者家族1名を熊本労災病院から熊本大学病院に搬送

※給水等支援の実施状況について、随時、広報及びSNS投稿（港湾局とも連携）により情報提供実施

（3）その他

- ・八代港湾合同庁舎（熊本海上保安部八代海上保安署）（業務継続中）
→外壁亀裂、断水
- ・三角港湾合同庁舎（熊本海上保安部）（業務継続中）
→屋内壁面亀裂、断水解消

- ・佐敷港計石西防波堤灯台（傾斜）（31 日復旧）
- ・八代港三ツ島南灯浮標の移動
- ・測量船等による緊急調査等（海底障害物調査等）

測量船さくらひびき

7 月 30 日午後 4 時 50 分 八代港水深調査終了（調査結果は、九地
整へ共有済み）

- ・職員、家族の被害なし

7 国土地理院の対応状況（8/23 10:00 時点）

- ・国土地理院災害対策本部会議（7/28 19:30、23:00、7/29 11:00、6:00、7/30 15:00、7/31 16:00、8/1 16:40、8/4 16:45、8/7 16:45、8/10 16:45、8/18 17:00、8/21 16:55）
- ・被災状況調査のため、国土地理院の測量用航空機「くにかぜ3」及び民間航測会社の航空機 4 機により、空中写真を撮影（8/3 完了）（TEC-FORCE として国土地理院職員 2 名派遣）。撮影できた地域について、垂直写真・斜め写真・正射画像を関係機関にプッシュ型で提供、HP にて公開
- ・電子基準点による地殻変動の情報を HP にて公開
- ・活断層図及び地形分類データを HP にて公開
- ・リエゾンを熊本県庁に派遣中（TEC-FORCE として国土地理院職員 2 名派遣）。
- ・「だいち 2 号」及び「だいち 4 号」観測データの干渉解析による地殻変動の情報を HP にて公開
- ・震源断層モデルを HP にて公開
- ・斜面崩壊・堆積分布図を関係機関に提供、HP にて公開
- ・令和 8 年熊本地震に伴う基準点成果の公表停止について HP に掲載
- ・令和 8 年熊本地震前後の画像から判読された変位境界（速報）（八代地区）を HP にて公開
- ・令和 8 年熊本地震前後の画像と数値表層モデルから判読された変位境界（速報）を HP にて公開
- ・「だいち 2 号」及び「だいち 4 号」の衛星画像解析による令和 8 年熊本地震に伴う変位境界（速報）を HP にて公開
- ・測量成果改定に必要な緊急測量を実施（TEC-FORCE として国土地理院職員 3 名派遣）
- ・被災状況調査のため、国土地理院の測量用航空機「くにかぜ3」により、空中写真を撮影（8/12 完了）（TEC-FORCE として国土地理院職員 2 名派遣）。垂直写真・正射画像を関係機関にプッシュ型で提供、HP にて公開
- ・報道発表「熊本地震に伴い八代海沿岸地域では浸水や冠水にご注意くだ

- さい」を3機関（港湾局、国土地理院、気象庁）で協働実施
- ・令和8年熊本地震時の電子基準点1秒解析結果をHPにて公開
 - ・令和8年熊本地震に伴い公表停止していた基準点成果のうち、改定した電子基準点の成果をHPにて公開

8 国総研・土研・建研・港空研の対応状況（8/22 08:30 時点）

（1）災害対策本部

- ・国土技術政策総合研究所 災害対策本部会議（第1回 7/28 19:00、第2回 7/28 22:30、第3回 7/29 10:30、第4回 7/29 15:30、第5回 7/30 14:30、第6回 7/31 18:10、第7回 8/1 16:00、第8回 8/4 12:10、第9回 8/5 16:30、第10回 8/7 16:00、第11回 8/10 16:00、第12回 8/18 16:00）
- ・土木研究所 災害対策本部会議（第1回 7/28 20:00、第2回 7/29 11:30、第3回 7/30 15:30、第4回 7/31 14:30、第5回 8/1 14:30、第6回 8/3 15:00、第7回 8/4 14:30、第8回 8/7 11:00）
- ・建築研究所 災害対策本部設置（7/28 17:10）
- ・港湾空港技術研究所 災害対策本部設置（7/28 16:30）

（2）職員派遣

- ・上下水道施設の専門職員が熊本県内の上下水道施設等の現地調査及び上下水道現地支援本部等との各種連絡調整（8/10～8/17：国総研 1名）
- ・河川構造物の専門職員が自治体等への技術支援として熊本県内の堤防被災についての現地調査を実施（7/30～7/31：国総研 4名、土研 2名）
- ・道路構造物の専門職員が TEC-FORCE 等として熊本県内の道路構造物の現地調査及び有識者委員会への参画等を実施（7/29～7/31：国総研 4名、土研 3名、7/31～8/2：国総研 3名、8/1～8/2：国総研 3名、8/3～8/4：国総研 2名、8/4～8/5：国総研 2名、土研 4名、8/4～8/6：土研 1名、8/5～8/7：土研 4名、8/6：国総研 1名、土研 1名、8/6～8/7：国総研 1名、8/19～8/21：国総研 2名、土研 1名）
- ・建築構造の専門職員が熊本県内の被災建物等について現地調査を実施（7/30：国総研 1名、建研 1名、7/31～8/2：国総研 2名、建研 1名、8/1：国総研 1名、建研 2名、8/4～8/6：建研 3名、8/6～8/7：建研 2名、8/9：国総研 2名、8/9～8/11：国総研 1名、建研 1名、8/11～8/12：建研 1名、8/18～8/19：国総研 1名、建研 2名、8/19～8/21：建研 1名）
- ・港湾施設の専門職員が TEC-FORCE として熊本県内の港湾施設の現地調査を実施（7/29～7/31：国総研 1名、港空研 2名、8/1～8/3：国総研 1名、港空研 2名、8/4～：国総研 1名、港空研 2名、8/7～8/9：国総研 2名）

以上

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 宮本
 代表：03-5253-8111 内線35-822
 直通：03-5253-8461